

会議名	東京都板橋区特別職報酬等審議会
開催日時	令和7年11月19日(水) 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	板橋区役所北館11階 第2委員会室
出席者	<p>【委員】</p> <p>小林英子委員（会長） 澤田稔委員 茂野善之委員（職務代理） 島田理香委員 田中良幸委員 徳山安子委員 萩原洋一委員 山内金久委員 山本菊子委員</p> <p>【事務局】</p> <p>田中光輝総務部長（幹事） 加藤豊総務課長（書記） 金子清美文書係長</p> <p>【行政委員会事務局及び監査委員事務局並びに区議会事務局】</p> <p>林栄喜事務局次長（教育委員会事務局） 水野博史事務局長（選挙管理委員会事務局） 木内俊直事務局長（農業委員会事務局） 堀井啓己総合調整係長（監査委員事務局） 渡辺五樹事務局長（区議会事務局）</p>
会議の公開について（傍聴）	<p>公開（傍聴できる）</p> <p>部分公開（部分傍聴できる）</p> <p>非公開（傍聴できない）</p>
議題等	区長、副区長、教育長、区議会議員及び行政委員の報酬等の額の適否について
配付資料	<p>東京都板橋区特別職報酬等審議会資料</p> <p>諮問書（写）</p> <p>答申案</p>
所管課	総務部総務課文書係 電話03(3579)2054
審議等の状況	<p>「委嘱式」</p> <p>審議会に先立ち、委員の委嘱を行った。</p> <p>幹 事 皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>また、特別職報酬等審議会及び政務活動費審議会の委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>特別職報酬等審議会につきましては、区長等特別職の報酬等の額の適否について審議するために、少なくとも毎年1回開催される区長の付属機関となります。</p> <p>また、政務活動費審議会は、区議会議員の政務活動費の額について審議をするため設置される区長の付属機関です。</p> <p>これより、両審議会委員の委嘱を行い坂本区長から委嘱状をお渡しいたします。</p> <p>（区長から委嘱状伝達）</p> <p>幹 事 ここで区長からご挨拶申し上げます。</p>

	<p>(区長挨拶)</p> <p>幹 事 続きまして、特別職報酬等審議会及び政務活動費審議会における役員の選任をお願いいたします。</p> <p>特別職報酬等審議会条例及び政務活動費の交付に関する条例において、「会長は委員の互選によって定める」と規定されています。</p> <p>会長の推薦をいただきたいのですが、皆さんいかがでしょうか。</p> <p>(委員の互選により会長が決定)</p> <p>幹 事 次に、特別職報酬等審議会条例及び政務活動費の交付に関する条例に基づき、会長から職務代理の指名をお願いいたします。</p> <p>(会長の指名により、職務代理者が決定)</p> <p>(会長挨拶、職務代理者挨拶)</p> <p>幹 事 ありがとうございます。</p> <p>以上をもちまして、委嘱式を終了させていただきます。</p> <p>「審議」</p> <p>幹 事 これより令和7年度特別職報酬等審議会を開会いたします。</p> <p>なお、本で行われる諮問は「特別職報酬等審議会」に対してのみであり、「政務活動費審議会」への諮問はございません。</p> <p>ここで、坂本区長から小林会長へ諮問書をお渡しします。</p> <p>(区長から会長へ諮問書伝達)</p> <p>幹 事 これから諮問書の写しを皆様にお配りいたします。また、諮問に対する審議に入りますので、区長は一旦ここで退席させていただきます。</p> <p>(区長退席／諮問書の写し配付)</p> <p>幹 事 それでは、審議会に先立ちまして、事務局の職員を紹介いたします。</p> <p>(事務局職員紹介)</p> <p>幹 事 この後の会議の進行は小林会長をお願いいたします。</p> <p>会 長 審議会の運営については、資料 28 ページ、「審議会の会議の運営について」のとおり、公平で円滑な進行に努めてまいりたいと思います。</p> <p>委員各位におかれましても、御協力をお願いいたします。</p> <p>なお、会議録については、各委員の名前は伏せて、要旨を公開します。</p> <p>はじめに、書記であります総務課長から諮問内容及び資料について説明願います。</p> <p>(書記による説明)</p> <p>会 長 事務局より説明ございました。質問や意見などご発言いただきたいと思います。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>初めに、区長等特別職の給料月額並びに区議会議員及び行政委員の報酬月額については3.63%引き上げ、改定の時期につきましては、令和7年4月1日から実施という答申案に、御発言のある方は挙手願います。</p>
委 員	組合との交渉、特区連の交渉と今の状況、それはどうなのか。
会 長	事務局お願いします。
書 記	<p>特区連との交渉に関しましては、現在まだ交渉中というところで、妥結にはいたっていないという状況でございます。</p> <p>特区連から出されている新聞等の内容しか私どもには入ってこないというところもございますが、そこを見ますと、上昇については概ね理解はするものの、物価上昇幅に対応した引上げにはなっていない等、意見として出ているところでございます。</p>
委 員	今後の交渉の見込みは、どう捉えていますか。
書 記	<p>例年ですと、近日中には妥結に至るものと考えておりますが、具体的にどのような状況での妥結になるかにつきましては、把握しきれていない部分でございます。</p>
幹 事	会長、よろしいでしょうか。
会 長	はい。事務局お願いします。
幹 事	<p>特区連の交渉という観点について少しご説明をしたいと思います。</p> <p>特別区人事委員会から給与の勧告を受けまして、特別区、23区の給料表、給料形態というのは統一なものになっていて、どの区に勤務しても同じ給料表で、同じ人事制度、給与制度で勤めることができます。</p> <p>現在は、特区連という特別区の労働組合連合という組織が、23区の区長会と団体交渉を重ねているというのが、特区連交渉と言われているものです。交渉自体は最終盤に向かってきているところで、最終的に妥結されますと給料平均3.80%上昇、期末手当が0.05月上積みされるという、我々職員の給料が決定するということでございます。</p> <p>委員から質問いただいたのが、その特区連の交渉経過ということで、繰り返しになりますが、今、最終盤の状況となっているところでございます。</p>
委 員	<p>急激な物価高、一般区民も真ただ中にいるわけだけでも、物価高をどう反映するか。交渉の一つのポイントであろうかとの話がありました。この点では、区長会としても物価高に対する認識はどうとらえていますか。参考に聞いておきたい。</p>
幹 事	<p>物価高等の生活環境については、交渉の過程で区長会側から明確に言及するような場面は、これまでもございません。かつても基本的には、その部分には触れずに民間企業との公民較差の扱いについてということで、区長会側は言及を繰り返すと</p>

というようなところでございます。

妥結に向けて給与の上昇という部分につきましては、特別区を取り巻く厳しい状況、先行きの状況、また、区民等の理解を得ることが非常に大事であるため、総合的な観点で決断をしていきたいというのが特別区 23 区の区長会の考えであります。

委 員 区民の理解というのは、そういった意味ではとても大事なことだと。

先程の説明で、50 人規模の事業所でこれまで比較していた。公民較差を比較して 50 人以上の事業所というのはいつからで、どんな理由かを改めて聞いておきたい。

今回、100 人以上の規模の事業所と比較したのは、どういう理由か聞いておきたい。

会 長 事務局お願いします。

書 記 今回 100 人規模に引き上げたというところにつきましては、行政職員の職責等を勘案しまして、より有為な人材を得るために 100 人規模の企業に引き上げを図るところが特別区のみならず、国の人事院ですとか、東京都も同じように引き上げをかけたというところでございます。

過去は 100 人規模でやっていたと聞いています。50 人規模になったのは、平成 18 年度に 50 人規模になりまして、その後、今回が 100 人規模に戻ったというような状況になってございます。

当時については、広くその企業の状況等を確認するというような意図で 50 人に落とすと認識しております。

委 員 落としたときの話と、今引き上げる 100 人規模の事業所で公民較差を比較していくという共通のテーマというのか、理由があったと思います。

結局、公民較差の問題で、いつときは減らすために 50 人規模にした。今回は、有為な人材を確保するために、100 人規模が比較する事業規模ということは給与の高いところと比較すると。簡単に言うと、給与引き上げのために比較する事業規模を 100 人規模にしたという理解でよろしいですか。

書 記 引き上げ、給与の高いところに合わせるためにというようなところにつきましては、基本的にそういった考えは直接には出ていないというところでございます。

特別区におきましても、区民に最も身近な基礎自治体として、時代にふさわしい意識を常に持って、先進的な施策を今後も展開していかなければならない中で、今日の厳しい採用環境等もございます。その中で有為な人材を確保するためには、公務の職務職責を重視しまして、より規模の大きな企業と比較する必要があるというのが理由になってございます。

	<p>給料の額というところは直接には言われてないという部分でございます。</p>
委 員	<p>直接は言われてなくても、暗にそのことを指摘して間違いはない。</p>
	<p>給与を引き上げるための基準を比べるところを書いたのは、引き上げるため。いかがですか。</p>
幹 事	<p>そう発言できるのかどうかというのが、執行機関側として難しいところではありますが、これまで 50 人規模の企業に引き下げたときには、労働組合側からは、ご指摘のような、給与比較する規模が小さくなれば、特別区の給与実態も下がっていくのではないかと。引き上げて欲しいというのを、ここ 5 年 10 年と要求があったところでございます。</p> <p>その部分につきましては区長会側、執行機関側が、いじれるところではございません。あくまでも調査をしているのが特別区人事委員会でございますし、そこはもう結果を待つというのが我々のスタンスになってしまいます。</p> <p>今年は、先立って行われます人事院が、そのような考え方のもと、比較を 100 人以上に改めたということでございまして、特別区人事委員会が実施する民間給与実態調査では、通例通り 50 人以上の規模から調査を比較をするという前提のもと、調査を進めていたようでございますけれども、国の、人事院の動きを見て、比較する企業を作業の途中で改めたというような情報は得ているところです。</p>
委 員	<p>区長会としては特別区人事委員会を、特別区人事委員会は人事院の動きを倣ってと。区長会はそれを倣って特区連と交渉してという流れを見ていくと、区長会としても、特区連と交渉する際に、どうして 50 人から 100 人にしたかということは説明しなければいけない。その説明を聞いていますか。</p>
幹 事	<p>その部分の説明というか理解については、特別区の人事委員会が実施するものだとして理解しています。</p> <p>勧告については、勧告式というようなものがございまして、23 区の区長に対する特別区人事委員会、またさらには、各区の議長会に対して、最終的には労働組合の連合体に対して、特別区人事委員会がその勧告内容を説明報告する場というのは必ず設けられています。その場で、その考え方については、説明されるものだと理解しています。</p>
委 員	<p>ここでは、説明されている中身については聞きようがないということですか。</p>
幹 事	<p>勧告式というものの自体に私は区長の代理で出席したことがございます。</p> <p>今年度については、私は出席していませんが、想定するところだと、先ほど申し上げたような公務の職務職責を重視した人材確保という部分について国も重きを置</p>

	<p>いておりますので、そういった部分についての意識を強く前面に出した説明がなされたものだとして理解しております。</p> <p>勧告及び報告書というのが、ホームページも掲載されております。</p> <p>勧告書の中にも、その程度の言及しかありませんので、それによって給与が上がるのか踏み込み込んだ結果論についてはあまり言及されるものではないかなと思っています。</p>
委 員	ありがとうございました。
会 長	他にご意見ございませんでしょうか。
委 員	基本的なことで、職員の平均年間給与 27 万 6000 円の増は全員、区長から職員までですか。
書 記	27 万 6000 円の増は、特別職は除いておりますので、一般職員部長級から 1 級職までということになります。
委 員	年間だから月にすると大体、2 万 2000 円ぐらい。
書 記	その通りでございます。
委 員	人を育て日本を育てる、そういう意味からして、私は給料倍ぐらいにしてもいいと、実は思っています。
	<p>そういう意味からすると、インフレじゃなくてデフレも、30 年もデフレではなかったかと思うけれども、非常に右肩下がり、それが今度、右肩上がりになってきて、そういう中において、日本の国が、いい人材を育てないといけない、やはり、そこに行くと思います。</p> <p>そういう意味からしては、これでは少ないと思うぐらいの気持ちです。</p> <p>これには私は賛成します。板橋は 58 万人、板橋区は本当に、女性、高齢者にやさしい区です。23 区でも、そちらに重きを置いていますが、本当にバランスのいい区ですか給料は安い、と私は今思っています。</p> <p>そういう中においては、もう少し、給料が大企業 100 人以上ではなく、50 人以下 30 人、20 人ぐらいの中小零細企業のところに、本当はもっと厚く持ってきてもらいたい。そういう施策を国会で、東京都で、区でその辺もさらにサポートできるようにして引き上げてもらいたいなと思いますが、その辺いかがですか。</p>
書 記	<p>ありがとうございます。</p> <p>職員の給料については、直接なかなか言及が難しいところではありますが、ただ、新規の採用職員等については、しっかり確保していかなければならないというのは区としても認識しているところでございます。今回の特別区人事委員会の勧告におき</p>

ましても 3.80%というのは全職層の平均でございますが、一番年収ベースで高いところでは高卒初任給などは 10.4%年収でアップするというような形で、若年層についても手厚くしているところでございます。

今在籍している 1 級職一番下の職層の職員につきましても、人事委員会の資料等では 4.8%上がるという計算になっていますので、できる限り若年層にも手厚く。今回は管理職層につきましても、今後、しっかり区を担っていくというところを見て 5 級 6 級職についても引き上げを大きくかけたというところで、3.80%という数値が出たというところでございます。

委 員 それでいいけれども、私は倍ぐらいを板橋区がやってもらいたい。給料が安くて、いい人材がこない。区議会議員も、いい人材がかかっています。

安心して育てられる板橋区、東京で一番住みたいまち板橋、やはり給料がいい、住みやすいという形で取り組めるような区にしていきたいなと私も考えていますが、よろしくお願ひしたいと思います。

会 長 その他にご意見ございませんでしょうか。

委 員 自公政権で失われた 30 年。この 30 年をね、どう取り返すか。

結局、人事院の勧告は人事委員会等で抑えるために、50 人規模の事業者で、公民較差を計算した。委員が言ったように、倍にしてもいいという話。だから今、1000 人規模で計算すべきだと、事業所を比較すべきだという声も特区連あたりでは出ています。公民較差の問題もさることながら、大手企業と中小零細、下請けの企業規模の格差が給与に全部反映しています。だから 1000 人規模にしたら、もっと公民較差の問題では引き上げの根拠が出るということは、ある意味では客観的な事実だと思います。

それともう 1 つは大手が儲け過ぎている。儲けが減税でさらに蓄えられ、海外進出をし、国内の企業や労働者に振り向けられないために、国内内需が冷え込んで、これが日本経済、失われた 30 年の大きな 1 つの要因です。だからここをどうするかは、これは大きな話を言うと国政の問題となりますが、私たちが、報酬審議会の場合でも、一番草の根、基礎的自治体の審議会ですが、委員はいろんな方々がいます。こういうことをしっかり見据えた議論がこういう場でも必要だと私は特に思います。

もう 1 つ聞きますが、採用の問題、人材確保で話されましたけれども、私は本当に公務労働がこの前のコロナ禍のときもそうだし、災害が多いので罹災証明書を発行するなど非常事態に公務労働がとっても大事なことは国民が、区民も含めて認識していると思います。私たちは、この公務労働に対して、きちんと冷静な評価をする目

	<p>が必要だと思っています。だから 1000 人規模の話も、比較の企業規模もそうだし、私たちが本当に公務労働に関する大きな役割を認めるってということで、とても大事な状況になっていると思います。改めて、そのことを、発言しておきたい。</p> <p>もう 1 つ聞きたいのは人材の問題では、労働時間、残業時間、それから、非正規雇用が、日本全体で増やされてきたが、これが賃金引き下げの重しとなるということも指摘されてきました。区の今の職員の人数と、それから残業等資料があれば、教えてもらいますか。</p>
書 記	<p>残業時間というところに関しては今資料を持ち合わせてございません。</p> <p>職員数に関しましては、先般 11 月 15 日に「広報いたばし」にも掲載しておりますが、令和 7 年度の職員数に関しましては 3827 人でございます。</p>
委 員	<p>3827 人とすれば 1000 人規模の事業所と比べても、公民較差は、100 人規模よりも、もっともっと給与改善に繋がる議論ができるということを指摘しておきたいと思います。以上です。</p>
会 長	<p>他にご意見はございますか。</p> <p>他にご意見ないようですので、この審議会では、全委員の意見が一致するよう議論を尽くすことになっておりますが、これに至らないときは、過半数の委員の意見をもって決定すると、規定されております。</p> <p>ご意見が一致に至りませんでしたので、ここで多数決をとりたいと思います。</p> <p>答申案に賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。賛成多数と認めます。</p> <p>従いまして、区長等特別職の給料月額並びに区議会議員及び行政委員の報酬月額については、3.63%引き上げ、改定の時期については、令和 7 年 4 月 1 日から実施ということよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>会長。意見あります。私、最終的な意見発表はしていませんでした。</p> <p>私たちは、今、公務労働の話もしましたが、一般職員の給料、賃金引き上げは当然少ないくらいだと思います。と同時に、今回の審議会の答申は、区長及び特別職の報酬の引き上げのことなので、私は改めて政治と金の問題は、本当に国民、区民の大きな怒りを買っています。やはり今回の報酬審の答申も、区民が納得できるのかということは大きなポイントです。</p> <p>ですから、私はこの答申案には、以上の理由から、区民の理解が得られないという点から反対をします。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>それでは、全委員一致には至りませんでしたので、その他の意見があった旨を付した上で答申するという事でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
会 長	<p>では、そのように決定します。</p> <p>続きまして、特別職等の期末手当については、一般職員を参考に、支給月数を 0.05 月引き上げ、改定の時期については、一般職と同じ改正条例の公布の日からという答申案に、御発言のある方は挙手願います。</p>
委 員	<p>会長。これも反対します。</p>
会 長	<p>他にご意見ございますか。</p> <p>今、委員より反対意見がございましたので、ここで多数決をとりたいと思います。答申案に賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。賛成多数と認めます。</p> <p>従いまして、特別職等の期末手当については、支給月数を 0.05 月引き上げ、改定の時期については、一般職員と同じ改正の条例の公布の日からということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
会 長	<p>こちらも全員一致には至りませんでしたので、その他の意見があった旨を付した上で答申するという事でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
会 長	<p>では、そのように決定します。</p> <p>この後、本日の審議結果に基づき、事務局において答申案の準備をいたします。答申案の準備の間、しばらく休憩とさせていただきます。</p> <p>(暫時休憩／答申案配付)</p>
会 長	<p>それでは審議会を再開いたします。</p> <p>答申案について、職務代理から説明願います。</p> <p>(職務代理による説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの答申案につきまして、御異議のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
会 長	<p>それでは、原案のとおり答申することといたします。よろしくお願いいたします。皆様ありがとうございました。</p>
幹 事	<p>それでは、区長の入室まで、このままお待ちください。</p>

	<p>(区長入室)</p> <p>幹 事 小林会長から答申書を坂本区長へお渡し願います。</p> <p>(会長から区長へ答申書の交付)</p> <p>幹 事 ありがとうございます。坂本区長より御挨拶申し上げます。</p> <p>(区長挨拶)</p> <p>幹 事 ありがとうございます。</p> <p>最後に委員の皆様に今後の流れについてお知らせいたします。</p> <p>ただ今提出いただきました答申書及び一般職員の給与改定に係る 23 区統一交渉、この結果を踏まえまして、関連する条例の改正（案）を区議会に提出いたします。</p> <p>期末手当の支給を考慮しますと、11 月中に条例改正の議決をいただく必要がございますので、今後、議会日程等の調整が見込まれているところであります。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の審議会を閉会といたします。本日はお忙しいところ長時間、皆様ありがとうございました。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------